

再生可能エネルギーの地産地消を目指して ～脱炭素を目指した産学連携の取組み～

金沢工業大学とNTTアノードエナジー株式会社は、太陽光発電の電気を直流のまま直流LED照明や、直流サーバー、各設備に供給することで、効率的に再生可能エネルギーを有効活用できる共同事業を実施しています。

本セミナーでは、同事業をはじめ脱炭素を実現するための様々な取組みについて紹介します。

【直流給電システムのイメージ】



金沢工業大学扇が丘キャンパス直流給電システム共同事業(環境省補助事業)



日時 2022年 **11月4日(金)** 14:00~16:30

会場 Zoomを利用したオンライン配信

対象 ものづくりに携わる企業・個人事業主、
研究開発機関、行政機関等の方

※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。



再生可能エネルギーによる 地産地消と直流活用技術

第1部

講師

泉井 良夫 氏

(金沢工業大学 工学部電気電子工学科 教授)

脱炭素を実現するためのポイントの一つである直流技術の利活用も含めて、再生可能エネルギーによる地産地消や、その実現に必要な技術、大学から見た地域における産学連携のあり方などについて紹介します。

産学連携による直流を活用した 共同事業と脱炭素の取組み

第2部

講師

小長野 孝之 氏

(NTTアノードエナジー株式会社
スマートエネルギー本部 スマートリソース部 担当課長)

環境省補助事業を活用した、産学連携による金沢工業大学扇が丘キャンパスにおける直流を活用した共同事業をはじめ、脱炭素を実現するためのNTTアノードエナジー株式会社の様々な取組みを紹介します。

講師プロフィール

泉井 良夫 (いずい よしお) 氏

金沢工業大学 工学部 電気電子工学科 教授

1981年東京大学工学部電気工学科卒業。1986年東京大学大学院工学系研究科電気工学専攻博士課程修了。工学博士。同年、三菱電機株式会社入社、2015年同社先端技術総合研究所主幹技師長。電力システムシステムの運用・計画、スマートグリッド・マイクログリッドなどの研究開発に従事。2018年金沢工業大学工学部電気電子工学科教授となり現在に至る。

現在は、産学連携による実証実験システムなどのエネルギーマネージメントの研究に従事している。

小長野 孝之 (おながの たかゆき) 氏

NTTアノードエナジー株式会社 スマートエネルギー本部 スマートリソース部 担当課長

1996年株式会社NTTファシリティーズ入社。2007年東日本電信電話株式会社、2010年株式会社エネット、2011年株式会社NTTファシリティーズスマートビジネス部、2018年電力広域的運営推進機関出向、2020年より現職。

現在は、再生可能エネルギーの導入促進や電力レジリエンスの強化に向けた直流によるスマートグリッド実証・事業に従事している。

「先端ものづくり技術交流セミナー(第1回)」参加申込書

企業名			
所在地	〒		
TEL			
参加者	役職	氏名	E-mail

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請
②E-mail または FAX(076-240-1903)による申請
のいずれかによりお申込みください。
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局
金沢市異業種研修会館 担当 山下
TEL:076-240-1934
FAX:076-240-1903
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和4年11月1日(火)

申込方法等の詳細は、Webサイト

「金沢市産学連携
ネットワーク」
をご覧ください。



金沢市産学連携ネットワーク